

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

建設業界のニーズに応えた資機材及び技術・工事・加工の提供を通じて社会資本の整備に貢献する

売上高
400億円

経常利益
20億円

配当性向
30%

② 中長期の経営戦略

1. コア事業の基盤強化

重仮設資材の販売・賃貸及び技術・工事・加工を提供するコア事業の基盤強化と収益構造の変革・強靱化に取り組む

3. 人材確保・育成投資

人的資本への投資拡大。社内研修充実と経営幹部との対話ミーティングを通じて多様な強い人材『個』が活躍できる企業を目指す

2. 設備投資による生産性向上

整備能力・生産性向上のため工場設備へ積極投資。2025年度末までに茨城工場で自動整備ラインの稼働を目指す

4. 新工種提案と加工受注拡大

現場の潜在需要を見定めた新工種の提案と建築・土木分野の特殊受注加工物件の拡大・強化に取り組む

③ 対処すべき課題

① 安全管理とコンプライアンス

- ・安全管理活動強化と不安全行動の撲滅で労働災害撲滅を目指す
- ・BCP策定で大規模自然災害時の事業継続体制を構築
- ・内部通報制度の整備・運用見直しでコンプライアンス意識を深化

② 建設業界の構造課題への対応

- ・鋼材価格高止まりと労務費高騰に対応した建設コスト削減
- ・建設従事者の高齢化と人手不足への対応。整備ラインのオートメーション化を進行中
- ・時間外労働の上限規制による工事着工遅延・進捗遅れへの対応

③ 環境・サステナビリティ対応

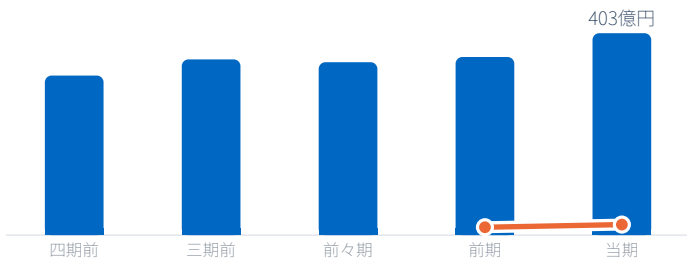
- ・鋼材反復利用のリース事業でリサイクル・リユースを推進
- ・配車最適化で運送距離短縮・CO₂排出削減を実現
- ・ユニフォームの植物由来素材採用で環境負荷軽減

面接で使えるポイント

- ・2030ビジョンで『重仮設のパイオニアとしての揺るぎない存在感』確立を目指し…
- ・建設従事者の高齢化・人手不足に対応し2025年度末までに茨城工場で自動整備ラインの稼働予定。
- ・経営幹部との対話ミーティングで社員の声を拾い上げ『人を大切にして人を育て』の理念実現に向け…

証券コード 8046

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
403億円営業利益率
5.2%財務健康度
58点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
742万円

卸売業内 99位/282社

平均年齢
45.1歳

卸売業内 61位/283社

平均勤続
18.1年

卸売業内 22位/282社

女性管理職
3.3%

卸売業内 154位/209社

男性育休
71.4%

卸売業内 100位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

